

～地域での支え合いの仕組みづくり

(生活支援体制整備事業) がはじまっています～



生活支援コーディネーター 地域通信 第8号

令和7年3月発行

私たちが生活支援コーディネーターです!



社協・川辺



包括・岸田



包括・平山

地域にある資源を活かして、地域の支え合いを推進する役割を担うのが生活支援コーディネーターです。町をより良くするための調整役として、地域の様々な活動と活動、人と人を“つなぐ”支援をしています。

「地域ふれあい支え合い活動報告会」を開催しました!!

とき 令和7年3月6日(木)
10時00分～12時00分
ところ つばめの杜ひだまりホール
1階文化研修ホール

今回の「地域ふれあい支え合い活動報告会」では、生活支援コーディネーター活動の中で発見した地域資源を活動しているご本人に発表して頂きました。より身近で、より実践しやすい、地域活動の《ヒント》となったのではないかと思います。

講師には、認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる副代表理事の真壁さおり氏を迎え「共生社会実現に向けて～皆が住みやすい地域づくり～」と題した講演を頂きました。

講演では、「なぜ支え合いが必要なのか」「見守りのいろいろ」等について取り上げられました。活動報告会で発表した「おむすびころりん」「にっこり会」の活動や、現在、町内で行われている地域活動についても、自然に行える見守り活動であると再確認することができたと思います。

見つける

つながる

支え合う

見守り活動の中の事例として「青空喫茶店」の紹介がありました。

「青空喫茶店」とは?

地域内のスーパーが閉店してしまい、買い物に不便になってしまった地域で、住民みんなで話し合いやアンケートを重ね、大手スーパーに働きかけることとなり、その結果、移動販売車が来ることになった事例。

そうした取り組み事例を知り、参加者からは「みんなで話し合うって大切だね～」という声がありました。

《支え合いの輪をつくる話し合いの場＝協議体》はとても大切であり重要です。町内でも『なじよすっぺ会(福祉情報共有会)』がはじまっています!!



※発表した2団体「おむすびころりん」「にっこり会」の記事は裏面へ→→→

「おむすびころりん」活動報告

■開催場所：その月によって変わります。

■開催日時：第2土曜日 午前11時半から午後1時

おむすびころりん（みんなの食堂）は、町内に在住する有志の仲間たちが集まり、1つは「食」を通して子どもも大人も参加できる「集う場所・学ぶ場所・育む場所」を創り地域コミュニティを活発にすること。2つ目は、本来食べられるのに捨てられてしまう食品を積極的に活用し「食品ロス対策」に貢献すること。上記の2つのことを目指して活動している団体です。2023年9月9日から第1回「おむすびころりん」活動開始、おにぎりと具だくさんのみそ汁を提供し、とても大好評でした。食材を支援して頂いている企業と社会福祉協議会の助成金により活動しています。

この活動は、子どもや高齢者の孤食を防ぎ、地域の誰もが安心して楽しく過ごせる居場所づくりになっています。



「にっこり会」活動報告

開催場所：山下生活センター

開催日時：毎週水曜日 午後1時30分から午後3時

平成28年、宮城県のモデル事業として「やましたふれあい塾」として発足し、現在は「にっこり会」として、参加者で協力しながら、和気あいあい楽しく活動している会です。活動を長く続けるには、「楽しみを持つこと、みんなで運営・決定していくこと、役割・当番を持つこと（複数人で）」と秘訣を教えてくださいました。

主なサロンの活動内容は、卓球バレー、絵手紙、手芸、軽運動、脳トレなど行っています。またイベントを企画し、バスでお出かけすることもあります。

今後も、年齢、性別に関係なく、地域の皆さんに参加してもらえよう活動を続けていきたいとお話頂きました。



「生活支援コーディネーター活動について」活動報告

生活支援コーディネーターは、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、地域の助け合い・支え合いの仕組み作りを行っていることや日ごろ活動している地域の活動（お宝）について、報告しました。

